

公立大学法人会津大学の  
第3期中期目標期間（平成30年度～令和5年度）に係る  
業務の実績に関する評価結果

令和6年9月

福島県公立大学法人評価委員会

## 公立大学法人会津大学の第3期中期目標期間（平成30年度～令和5年度） に係る業務の実績に関する評価結果

### 第1 「全体評価」

公立大学法人会津大学（以下「法人」という。）における第3期中期目標期間の業務実績について、法人による自己評価は次のとおりである。

全項目（179項目）

- 「A：中期計画を上回って実施している」 58項目（32.4%）
- 「B：中期計画を予定どおりに実施している」 114項目（63.7%）
- 「C：中期計画を下回って実施している」 7項目（3.9%）
- 「D：中期計画を大幅に下回って実施している」 0項目（0%）

法人は、教育、研究、国際化、地域貢献及び復興創生支援等に積極的に取り組み、中期目標を上回る実績を上げることができた。

特に、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興に寄与するため、コンピュータ理工学、産業情報学、食物栄養学、幼児教育学及び社会福祉学の専門性を生かした人材育成や共同研究、産業・文化の振興等に取り組んでいることは高く評価できる。

第3期中期目標期間の業務実績（項目別評価）は、以下のとおりである。

	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	見込 評価	実績 評価
教育研究等の質の向上	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ
教育	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ
研究	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
国際化	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
地域貢献・東日本大震災等の復興支援	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
地域社会との連携・協力	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
地域産業の振興	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
復興支援	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
管理運営の改善及び効率化	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
業務運営の改善、効率化	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
財務内容の改善	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
自己点検・評価等	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
その他業務運営	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ

### 1 会津大学

会津大学（以下「四大」という。）は、コンピュータ理工学の分野において国内外で活躍できる優秀な研究者及び技術者の育成に努めるとともに、起業家精神を持つ人材の育成にも力を注いでいる。さらに、留学生の受入れや文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業等による国際化にも積極的に取り組んでいる。

また、福島ロボットテストフィールドを拠点とした浜通り地域におけるロボット産業への産学官連携、県立医科大学との連携による県民健康調査への協力、先

端ICT技術に携わる人材育成事業、大学発ベンチャー企業の創出等、新たな産業の創出や雇用確保に積極的に取り組んでおり、本県の復興と地方創生に貢献していることについて高く評価できる。

さらに、福島国際研究教育機構と協力連携に関する基本合意書を締結するとともに、委託研究事業を開始する等、積極的な連携に取り組んでいる点は高く評価できる。

イギリスの教育専門誌Times Higher Educationによる「THE世界大学ランキング」にランクインし続けており、世界的にも評価を受けている。

パソコン甲子園、中高生向けのコンピュータサイエンスサマーキャンプ、公開講座、浜通り地域の高校生等向けのプログラミング演習、社会人向けのリカレント教育を実施し、ICT人材育成の裾野を広げる取組にも努めている。

なお、平成29年度に受審した公益財団法人大学基準協会の認証評価において指摘された「学部や大学院の課程ごとに入学受入方針（アドミッション・ポリシー）や、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）が区別されていないこと」、「博士後期課程においてリサーチワークとコースワークを適切に組み合わせていないこと」、「博士前期課程において研究指導計画の学生への明示が不十分であること」については、すでに対応している。

## 2 会津大学短期大学部

会津大学短期大学部（以下「短大」という。）では、産業、経営、デザイン、情報、環境、健康、栄養、食品、教育、保育、福祉等の専門分野の知識や技術を身に付け、地域貢献ができる職業人の育成に取り組み、高い就職率を維持している。

また、優秀な学生の確保に向けた新たな入試制度の導入や積極的な広報、産学官民との協働・連携、学生参画型実学・実践教育、派遣講座・公開講座、復興支援のための活動、学生へのきめ細やかな学修相談等に積極的に取り組んでおり、高く評価できる。

特に、「学生の県内就労」及び「地域との協働・連携」については、教職員一丸となって力を入れており、非常に高く評価できる。

なお、平成29年度に受審した公益財団法人大学基準協会の認証評価において指摘された「学位授与方針について学科ごとに策定されていない点及び課程修了にあたって修得することが求められる知識・能力等の学習成果を示していない点」、「学生寮（一箕寮）の老朽化による入居学生の居住環境の悪化」、「附属図書館の狭隘」の課題はすでに対応している。

### 第2 「項目別評価」

- 1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置  
【評価】「I：中期計画を十分に実施できている」と認められる。

- (1) 教育に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：中期計画を十分に実施できている」と認められる。

**【特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】**

**(四大)**

- ① ◎ 学内全体で英語教育の充実に取り組み、英語による学部授業科目割合を増加させ、目標の50%を達成したことは高く評価できる。また、学部3年次への進級要件の一つに、TOEIC®400点以上(2022年度入学生からは450点以上)を設定するとともに、英語要件により留年した学生がほぼいなかった点も高く評価できる。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
英語による学部授業科目割合 (目標50%)	29.9%	72.2%	66.7%	61.8%	62.5%	66.7%
2年次終了時TOEIC®達成割合 (目標100%)	81.9%	94.8%	87.7%	84.7%	90.8%	91.9%

- ② ○ 成績不振の学生を出さないよう、全学生に担当教員を配置する制度を設けるとともに、単位数不足者に注意喚起を行った。また、平成30年度入学生から留年制度を導入し、成績不振学生の早期把握に努め、成績不振学生には、本人及び保護者との面接を行う等、きめ細かい支援を実施した。また、専門知識を有する修学支援員の雇用や、遠隔授業等の新型コロナウイルス感染症対策等、修学支援の充実を図っている点は評価できる。

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
留年新規判定人数	28人	26人	42人	24人	23人

- ③ ◎ 女子学生増加に向けて、学校推薦型選抜方法の見直し、女子学生向けの返還不要の奨励金の設置、在学中の女子学生からの協力も得た広報活動等に取り組んだ結果、入学者に対する女子学生の割合が15.1%となり、目標を上回って達成した。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
入学者に対する女子学生の割合 (目標12%)	9.9%	9.5%	10.0%	10.2%	12.5%	15.1%

- ④ ○ 大学院進学率向上に向けた各種広報活動、オナーズプログラム(学部・修士一貫型)による5年間で修士号を取得できる制度運用等に取り組み、目標の大学院博士前期課程定員充足率80%をおおむね達成できた。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
大学院博士前期課程定員充足率 (目標80%)	63.3%	67.5%	57.5%	65.8%	95.8%	79.2%

- ⑤ ◎ 工学教育の質を保証するJABEE(一般社団法人日本技術者教育認定機構)から情報専門系学士課程CS(コンピュータ科学)分野の認定基準に適合しているとして、四大の「国際技術者育成プログラム」が認

定された。

- ⑥ ○ 国際公募により教員を採用し、外国人等専任教員の割合が60.0%となり、目標の60.7%をおおむね達成した。また、女性教員採用に努め、女性教員割合が11.8%となり、目標の10%を達成した。

**(短大)**

- ① ○ 各学科において資格取得に向けた支援を行い、資格取得希望者の取得率について、目標の100%をおおむね達成した。

産業情報学科	二級建築士試験・木造建築士試験受験資格、色彩検定
食物栄養学科	栄養士免許、フードスペシャリスト資格認定試験受験資格、NR・サプリメントアドバイザー認定試験受験資格
幼児教育・福祉学科	幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉士受験資格

- ② ◎ 免許資格関連職への就職を希望する学生の免許資格関連職への就職率について、目標の100%を達成することができた。
- ③ ○ 国の保育士養成課程の見直しに伴い、幼児教育・福祉学科の学科課程表や授業科目を見直し、県より指定保育士養成施設の変更承認を受けた。
- ④ ○ 教職員による学生相談、メンタルヘルス支援に努め、きめ細やかな学生支援を行っている。
- ⑤ ○ 学生寮（一箕寮）の生活環境改善に努め、厨房・食堂の改修工事、電気容量アップ工事、各室のLED照明更新等を実施した。また、ブロック塀からフェンスへの更新工事を実施した。

**(共通)**

- ① ○ オンラインでの広報活動等を通じて、コロナ禍においても大学が求める入学者の確保に努め、一般入試の志願倍率の目標をおおむね達成できた。特に、入試方法の変更や受験者へのアンケートを踏まえた広報活動の見直し等、優秀な学生確保に向けて積極的に取り組んだ。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
四大(目標5.0倍)	5.8倍	6.3倍	5.6倍	5.2倍	3.8倍	4.5倍
短大(目標2.0倍)	3.1倍	3.1倍	2.4倍	2.7倍	2.5倍	2.2倍

- ② ○ キャリア教育、学生との個別面談、就職支援員による就職活動支援等、きめ細やかな支援に努めたことにより、就職希望者の就職率について目標の100%をおおむね達成できた。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
四大(院)	100%	98.1%	97.4%	100%	100%	100%
四大(学部)	98.6%	98.1%	97.4%	99.2%	97.9%	98.6%
短大	97.8%	97.7%	98.5%	98.3%	98.3%	99.2%

- ③ ◎ 学生支援として、授業料減免制度の継続実施のほか、会津大学学生生活支援基金の活用による給付金支給に加え、学内で使用できるプリペイドカードの支給や、メンタルヘルス支援、コロナ禍における食料支援等

を行った。特に、令和元年4月から「会津大学学生生活支援基金」を設置し、寄附金の募集を開始した。これにより、修学が困難な学生に対する経済的支援を大学が積極的に行えるようにしたことは高く評価できる。

- ④ ○ ファカルティ・ディベロップメント（授業内容等を改善し向上させるための組織的取組）として、学生による評価アンケート、教員表彰（学生が選ぶベスト授業賞）、外部講師による講演会開催等を実施した。

**(2) 研究に関する目標を達成するための措置**

**【評価】「I：中期計画を十分に実施できている」と認められる。**

**【特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】**

**(四大)**

- ① ◎ 四大では、研究力強化を図るため、講座制を廃止し、研究クラスター（研究テーマに応じて組織横断的なチームで研究を行う取組）による研究を推進した。
- ② ○ 6年間で、新たに12か国・地域の28の大学や研究機関と協定を締結し、共同研究等につながる取組を進めている。
- ③ ◎ 科学研究費の新規採択率について目標の30%を達成していない年度もあるが、主要学術論文採択数、学術論文被引用件数、特許出願件数は、目標を大きく上回る実績となった。特に、学術論文被引用件数は、6年間で80%以上増加した。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
主要学術論文採択数 (目標 300 件)	282 件	313 件	295 件	303 件	354 件	363 件
学術論文被引用件数 (目標 3,000 件)	4,046 件	4,743 件	4,881 件	5,872 件	7,070 件	7,455 件
科学研究費の新規採 択率 (目標 30%)	20.0%	26.7%	35.7%	20.0%	24.2%	25.6%
外部資金獲得件数 (目標 120 件)	116 件	135 件	157 件	141 件	172 件	167 件
特許出願件数 (目標 12 件)	8 件	15 件	16 件	10 件	12 件	15 件

- ④ ○ 平成31年に宇宙情報科学研究センターが文部科学省の「共同利用・共同研究拠点（月惑星探査アーカイブサイエンス拠点）」の認定を受け、全国の研究者と共同研究を実施している。
- ⑤ ◎ 福島国際研究教育機構と協力連携に関する基本合意書を締結するとともに、ロボット開発環境と人材育成に向けた受託研究事業を開始した。

**(短大)**

- ① ○ 産官民との連携、学生参画型実学・実践教育を通じた地域課題解決等により、研究成果を地域社会へ還元した。

- ② △ 公表された研究活動数は、新型コロナウイルス感染症による人的交流が制限された影響を除けば、目標の100件を達成している。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
公表された研究活動数(目標100件)	125件	107件	89件	73件	65件	60件

**(共通)**

- ① ◎ 外部資金獲得のため学内連携に努め、外部資金獲得件数及び外部資金獲得額について、目標を大きく上回って達成した。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
外部資金獲得件数(目標120件)	116件	135件	157件	141件	172件	167件
外部資金獲得額(目標2.5億円)	1億6664万円	3億6856万円	3億9602万円	3億4350万円	4億3863万円	4億6074万円

**(3) 国際化に関する目標を達成するための措置**

【評価】「I：中期計画を十分に実施できている」と認められる。

【特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】

**(四大)**

- ① ◎ 新型コロナウイルス感染症の影響もある中で、「デュアルディグリープログラム(会津大学と海外協定校の両方の修士課程で1年ずつ学び、修了時に2つの修士号を取得するプログラム)」、「グローバル3+2プログラム(海外の協定大学の学部を3年で履修したのち、会津大学の修士課程に進学し、2年間で修士号を取得するプログラム)」、「ICTグローバルプログラム全英語コース(全授業を英語で履修。以下「ICTGコース」という。)」等を通して、会津大学の認知度の向上及び優秀な外国人留学生の獲得に努めたことにより、外国人留学生の割合が14.3%となり、目標の10%を上回る実績となった。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
外国人留学生の割合(目標10%)	6.1%	7.9%	9.5%	12.4%	12.5%	14.3%
ICTGコース在籍人数	32人	41人	69人	76人	106人	131人

- ② ○ 新型コロナウイルス感染症の影響や円安・物価高騰の経済的影響もある中で、日本人学生の留学・インターンシップの拡充、留学生派遣支援体制の充実、外部資金を活用した経済的支援等に努め、日本人学生の留学経験者数について目標の50人を達成できた。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
日本人学生の留学経験者数(目標50人)	43人	22人	55人	61人	44人	52人

- ③ ◎ 文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業の認定を受け、大

学院を含めたグローバル創業教育を確立した。また、継続的な事業とするため、外部資金確保等の自走化にも取り組んだ。

- ④ ○ 新型コロナウイルス感染症による影響を受けつつも、地域自治体や会津大学外国人留学生後援会等と連携した交流イベントの開催、クラウドファンディング制度を導入した資金調達手段の確保、教員主催の国際会議等への経費助成等を通じ、学内及び地域の国際化に貢献した。

## 2 地域貢献・東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置

【評価】「I：中期計画を十分に実施できている」と認められる。

### (1) 地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：中期計画を十分に実施できている」と認められる。

【特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】

#### (四大)

- ① ◎ 市町村や企業等との連携協定を新たに12件締結し、助言活動や人材育成、地域課題解決等を通じてDX化や地域活性化に寄与した。
- ② ◎ 県立医科大学や民間企業等との共同研究等に積極的に取り組んだ。
- ③ ○ 中高生向けの「コンピュータサイエンスサマーキャンプ会津大学」の開催を支援し、会津の魅力発信やICT人材育成に努めた。
- ④ △ 全国高等学校パソコンコンクール（パソコン甲子園）では、人材育成の長年の功績が評価され、日本工学教育協会の第23回工学教育賞における文部科学大臣賞を受賞した。コロナ禍において、オンラインで実施することにより、大会を継続開催したことは評価できるが、目標の参加者2,000人は達成できなかった。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
パソコン甲子園参加人数（目標2,000人）	1,906人	1,850人	1,555人	1,716人	1,505人	1,502人

#### (短大)

- ① ◎ 地域との連携・協働事業について、地方自治体等からの委託事業を積極的に受け入れ、目標の20件を達成した。特に、令和5年度は、目標に対して140%の増の48件となった。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
地域との連携・協働事業数（目標20件）	16件	21件	27件	27件	29件	48件

**(共通)**

- ① ◎ コロナ禍においてはオンライン開催に切り替える等により、公開講座及び教員派遣講座を継続的に開催し、法人が持つ知的資源を地域社会へ還元した。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
公開講座	16 件	20 件	14 件	20 件	19 件	24 件
教員派遣講座	219 件	253 件	165 件	194 件	215 件	208 件

**(2) 地域産業の振興に関する目標を達成するための措置**

**【評価】「I：中期計画を十分に実施できている」と認められる。**

**【特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】**

- ① ◎ 県内外の企業等からの技術相談等を受ける「会津オープンイノベーション会議（AOI 会議）」を実施し、共同研究や事業化等に発展させることで、産業振興に貢献した。また、会津若松市のスーパーシティ構想への支援を始め、市町村や民間企業等との連携が評価され、経済産業省の「地域オープンイノベーション拠点（地域貢献型）」に選ばれた。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
AOI 会議開催件数(目標 300 回)	373 回	340 回	316 回	311 回	315 回	335 回

- ② ○ 大学発ベンチャー企業として 12 社を新たに認定し、総数 31 社となり、目標の総数 30 社を達成した。また、大学発ベンチャー企業への支援及び連携した研究活動も実施した。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
大学発ベンチャー認定企業数	3 社	2 社	2 社	3 社	2 社	0 社

**(3) 復興支援に関する目標を達成するための措置**

**【評価】「I：中期計画を十分に実施できている」と認められる。**

**【特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】**

**(四大)**

- ① ◎ 「会津大学ロボットテストフィールド研究センター」（南相馬市の福島ロボットテストフィールド内）を中心として、ロボットや先端 ICT 技術の実証・開発、地元製造業との連携、浜通り地域の高校生等を対象としたロボット関連技術講習会を開催する等、産学官連携や人材育成を通じて、福島イノベーション・コースト構想の実現に向けて貢献した。
- ② ◎ 「女性のための IT キャリアアップ塾」を実施し、県内就職を希望する女性に対してプログラミング等を学習する機会を提供するとともに就労支援を行い、第 3 期中期目標期間中に累計 400 人以上の就労に貢献した。この取組は、日本工学教育協会の第 25 回工学教育賞を受賞した。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
就労者数	56 人	108 人	56 人	68 人	62 人	57 人

- ③ ◎ ロボット技術に係る研究成果や技術を県内企業に還元し、地域のイノベーションに貢献した。また、ロボットに関する各種取組は、大学間連携功労者表彰の受賞や World Robot Summit での入賞等、学外からも高い評価を受けている。
- ④ ◎ 福島県警察本部のサイバー犯罪対策アドバイザーとして助言を行う等、サイバー犯罪防止に協力した。また、コロナ禍において、県内中小企業支援のためにサイバーセキュリティ研修を実施したことは評価できる。

**(短大)**

- ① ○ 大熊町立学び舎ゆめの森（大熊町立小・中学校）からの要望に応じて講師派遣や施設の開放等、大熊町の将来を担う人材の育成を支援した。
- ② ○ 被災市町村及び帰還住民を対象とした復興支援に関する協働・連携事業を実施した。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
復興支援に関する協働・連携事業	5 件	12 件	5 件	7 件	3 件	3 件

**3 管理運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置**  
**【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。**

**(1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置**  
**【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。**  
**【特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】**  
**(共通)**

- ① ○ タブレット端末を利用したペーパーレス会議、電子申請システムの導入等、事務の効率化に努めた。また、コピー用紙購入量は平均 5.8% 減となり、目標の平均 5% 減を達成できた。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
コピー用紙購入量(目標平均 300 万枚)	317 万枚	336 万枚	272 万枚	254 万枚	307 万枚	301 万枚

- ② ○ 公募により職員を採用した結果、法人職員割合は 47.1% となり、目標の 45% を上回って達成した。

**(2) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置**  
**【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。**  
**【特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】**

- ① ○ シーズ集を発行するとともに、各種技術展示会への参加等により、知的財産の情報発信に努めた。また、技術移転機関（TLO）との連携により、令和 2 年度には実施許諾契約を 1 件締結した。
- ② ○ 特許庁から人材を雇用するとともに、知的財産顧問（弁理士委嘱）を



## 2 項目別評価 総括表

公立大学法人会津大学

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価				
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項			
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	中期	A	35	B	66	C	3	D	0	I			
		年度	A	31	B	71	C	2	D	0				
		中期	A	22	B	46	C	2	D	0				
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											
			A	11	B	15	C	1	D	0				
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											
			A	2	B	5	C	0	D	0				
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											
		年度	A	23	B	46	C	1	D	0				
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											
			A	7	B	19	C	1	D	0				
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											
			A	1	B	6	C	0	D	0				
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											

1	教育に関する目標を達成するための措置	中期	A	23	B	56	C	1	D	0	I		
		年度	A	19	B	61	C	0	D	0			
		中期	A	12	B	39	C	1	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	11	B	14	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	3	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
		年度	A	12	B	40	C	0	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	7	B	18	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	3	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										

(1)	入学者受 入方針及 び入試制 度に関する 目標を達 成するた めの措 置	中期	A	7	B	13	C	0	D	0	II	【会津大学】 一般選抜の志願倍率は、 目標の5.0倍をおおむね達 成しているが、少子化等 の影響もあるため継続努 力が必要。  【会津大学短期大学部】 一般選抜の志願倍率は、 目標の2.0倍を達成した。		
		年度	A	5	B	15	C	0	D	0				
		中期	A	3	B	11	C	0	D	0				
			(四大) 学士課程における入学者選抜方法の改善、志願者確保のための広報活動、大学院課程 における留学生や進学者の確保などについて、計画どおり実施した。											
			A	4	B	2	C	0	D	0				
			(短大) 入学者確保のため、高校訪問、進学説明会、メディアを用いた広報活動を継続し、志 願倍率2.0倍以上を維持するなど、計画どおり実施した。											
		年度	A	3	B	11	C	0	D	0				
			(四大) 大学が求める入学者確保のため、積極的な高校訪問などの取組を計画どおり実施し た。一般入試の志願倍率、入学者に対する女子学生の割合ともに、目標を達成するこ とができた。											
			A	2	B	4	C	0	D	0				
			(短大) 大学が求める入学者確保のため、入学者受入方針の周知、積極的な高校訪問、受験者 アンケートを踏まえた広報改善などの取組を計画どおり実施した。											
										I	【会津大学】 入学者に対する女子学生 の割合が15%となり、目 標を十分に達成した。  【会津大学短期大学部】 志願倍率が2.2倍となり、 目標の2.0倍を達成した。			

(2) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置	中期	A	11	B	21	C	1	D	0	I 【会津大学】 留年制度を導入し、教員と修学支援室が連携して学生への早期支援を行っている。  【会津大学短期大学部】 免許・資格取得率向上のため、外部講師の招聘等に取り組んでいる。		
	年度	A	10	B	23	C	0	D	0			
	中期	A	7	B	16	C	1	D	0			
		(四大) 大学が育成を目指す人物像を理解してもらうため、学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証や、シラバスの英語化などに取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。										
		A	4	B	5	C	0	D	0			
		(短大) 大学が育成を目指す人物像を理解してもらうため、学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証などに取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。										
	年度	A	7	B	17	C	0	D	0			
		(四大) 大学が育成を目指す人物像を理解してもらうため、学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証や、4学期制の継続、シラバスの英語化などの取組を計画どおり実施した。ICTグローバルプログラム全英語コースの在籍数、英語による授業科目数などは目標値を上回る実績となった。										
		A	3	B	6	C	0	D	0			
		(短大) 大学が育成を目指す人物像を理解してもらうため、学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証などの取組を計画どおり実施した。免許・資格取得希望者の取得率及び資格等取得者の資格関連職への就職率はほぼ計画どおりの実績となった。										
I 【会津大学】 JABEE(第三者機関による教育プログラム認証)から国際技術者育成プログラムの認証を取得した。  【会津大学短期大学部】 食物栄養学科ではカリキュラムツリー・マップを整備した。												

(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	中期	A	2	B	9	C	0	D	0	I	【四大・短大共通】 ネットワークシステム等の更新・改善を計画的に実施した。		
		年度	A	2	B	9	C	0	D	0				
		中期	A	1	B	4	C	0	D	0				
			(四大) 施設や機器の整備、教員研修の実施、教員の国際公募による採用に取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。											
			A	1	B	2	C	0	D	0				
			(短大) ネットワークシステムや実習機器の更新整備に取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
			(四大・短大共通) 施設・設備の計画的な修繕や維持管理、教員の募集・採用に取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。											
		年度	A	1	B	4	C	0	D	0				
			(四大) 施設や機器の環境整備、教員研修、教員の国際公募による採用などの取組を計画どおり実施した。外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合及び女性教員数はほぼ計画どおりの実績となった。											
			A	1	B	2	C	0	D	0				
			(短大) 今年度更新したネットワークシステム及び導入を一年延期していた学務システムについて、安定的に運用することができた。また、実習機器の更新整備などの取組を計画どおり実施した。											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
			(四大・短大共通) 施設・設備の計画的な修繕や維持管理、教員の募集・採用などの取組を年度計画どおりに実施した。											
											I	【会津大学】 国際公募により女性教員2名を採用し、女性教員の割合が11.8%となった。  【会津大学短期大学部】 外部講師を招き、「教育の質保証」をテーマに教員研修会を開催した。		

(4) 学生への支援に関する目標を達成するための措置	中期	A	3	B	13	C	0	D	0	I 【四大・短大共通】 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、給付金支給や外部からの寄附食料の速やかな配布、オンラインへの対応等に努めた。	
	年度	A	2	B	14	C	0	D	0		
	中期	A	1	B	8	C	0	D	0		
		(四大) 学生支援に関する方針の検討、全学生への担当教員の配置、就職支援等に取り組むことにより、概ね計画どおり達成できた。									
		A	2	B	5	C	0	D	0		
		(短大) 学生支援に関する方針の検討、就職支援、寮の運営改善等に取り組むことにより、概ね計画どおり達成できた。									
	年度	A	1	B	8	C	0	D	0		
		(四大) 学生支援に関する方針の検討、全学生への担当教員の配置、就職支援などの取組を計画どおり実施した。創明寮においては、新型コロナウイルス感染症が5類になったことを受け、留学生と日本人学生の相互交流の場を提供することができた。									
		A	1	B	6	C	0	D	0		
		(短大) 学生支援に関する方針の検討、就職支援、寮の運営改善などの取組を計画どおり実施した。学生相談室を新設し、学生の相談に適切に対応できる環境を整えた。									
I 【会津大学】 県内企業見学会や県内企業を含めた合同企業説明会を開催し、県内企業を周知した。  【会津大学短期大学部】 学生相談を2,969件実施した。											

2	研究に関する目標を達成するための措置	中期	A	8	B	9	C	2	D	0	I		
		年度	A	7	B	10	C	2	D	0			
		中期	A	6	B	6	C	1	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	1	C	1	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	2	B	2	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
		年度	A	6	B	6	C	1	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	1	C	1	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	1	B	3	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	中期	A	7	B	7	C	2	D	0	I 【会津大学】 研究力強化のため、講座制を廃止し、クラスターモデルを導入した。また、学術論文被引用件数、外部資金獲得額、特許出願件数は目標を大きく上回っている。  【会津大学短期大学部】 コロナ禍以前は、公表された研究活動数が目標の100件を達成していたが、人的交流の制限の影響を受け、低迷している。	
	年度	A	7	B	7	C	2	D	0		
	中期	A	6	B	6	C	1	D	0		
		(四大) 研究科、学部各部門、各センターや学内横断的な研究に取り組むことで、計画どおり達成できた。									
		A	0	B	1	C	1	D	0		
		(短大) 基礎的研究、応用的研究、地域実践研究を行い、その成果の公表に取り組むことで、計画どおり達成できた。									
	年度	A	1	B	0	C	0	D	0		
		(四大・短大共通) 外部資金獲得に取り組むことで、計画どおり達成できた。									
		A	6	B	6	C	1	D	0		
		(四大) 研究科、学部各部門、各センターにおいて年度計画どおり研究に取り組み、主要学術論文採択数、学術論文引用件数等で目標を上回った。									
	年度	A	0	B	1	C	1	D	0		
		(短大) 基礎的研究、応用的研究、地域実践研究を行い、その成果を公表する取組などを年度計画どおり実施したが、研究活動数は目標値には達しなかった。									
		A	1	B	0	C	0	D	0		
		(四大・短大共通) 外部資金獲得の取組を年度計画どおり実施し、外部資金の獲得件数及び獲得額は目標を大きく上回った。									
I 【会津大学】 学術論文被引用件数が7,455件となり、目標の3,000件を大幅に上回る実績となった。  【会津大学短期大学部】 公表された研究活動数が60件となり、目標の100件を達成できなかった。											

(2)	研究の実施体制等に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	2	C	0	D	0	II	
		年度	A	0	B	3	C	0	D	0		
		中期	A	1	B	2	C	0	D	0	II	
			(四大・短大共通) 研究に必要な施設・設備の適切な維持管理、学内研究費の効果的な見直し、研究費適正執行等に取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。									
年度	A	0	B	3	C	0	D	0	II			
	(四大・短大共通) 研究に必要な施設・設備の適切な維持管理、学内研究費の効果的な見直し、研究費適正執行に関する取組を年度計画どおりに実施した。											
3	国際化に関する目標を達成するための措置	中期	A	4	B	1	C	0	D	0	I	
		年度	A	5	B	0	C	0	D	0		
		中期	A	4	B	1	C	0	D	0	I	
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。									
		年度	A	5	B	0	C	0	D	0	I	
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。全学生数に対する外国人留学生数の割合は目標値を大きく上回る実績となった。									

第2	地域貢献・東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置	中期	A	19	B	9	C	1	D	0	I		
		年度	A	19	B	8	C	1	D	1			
		中期	A	16	B	6	C	1	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	3	B	2	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
		年度	A	16	B	5	C	1	D	1			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	3	B	2	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										

1	地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	中期	A	9	B	6	C	1	D	0	I		
		年度	A	10	B	5	C	1	D	0			
		中期	A	6	B	5	C	1	D	0			
			(四大) 公開講座、先端ICT人材育成、協定締結自治体や県立医科大学との連携した取組、ロボット事業等を継続することで、計画どおり達成できた。										
			A	3	B	0	C	0	D	0			
			(短大) 一般市民向けの公開講座、地域活性化センターを中心とした地域との協働・連携などの取組等を継続することで、計画どおり達成できた。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
		(四大・短大共通) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、施設等の外部貸出に取り組み、計画どおり達成できた。											
		年度	A	7	B	4	C	1	D	0			
			(四大) 一般市民向けの公開講座、先端ICT人材育成、協定締結自治体や県立医科大学との連携した取組などを年度計画どおり実施した。ロボット事業における浜通りの高校生への人材育成やAOI会議の県内への展開は計画を上回って実施できた。										
			A	3	B	0	C	0	D	0			
			(短大) 一般市民向けの公開講座、地域活性化センターを中心とした地域との協働・連携などの取組を年度計画どおり実施し、派遣講座数は目標値を上回った。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
		(四大・短大共通) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、2023年5月以降は貸出を再開することで、利用件数・使用料収入とも前年度を上回ったが、感染症拡大前の水準までは回復していない。											

2	地域産業の振興に関する目標を達成するための措置	中期	A	5	B	0	C	0	D	0	I	
		年度	A	4	B	0	C	0	D	1		
		中期	A	5	B	0	C	0	D	0		
			(四大) 「女性のためのITキャリアアップ塾」を通じた県内就労支援、地域企業との積極的連携、AOI会議の全県的展開などに取り組むことで、計画どおり達成できた。									
3	復興支援に関する目標を達成するための措置	中期	A	5	B	3	C	0	D	0	I	
		年度	A	5	B	3	C	0	D	0		
		中期	A	5	B	1	C	0	D	0		
			(四大) AOI会議の積極的な開催、県立医大や県警本部と連携した取組、ロボット人材育成などの取組等を継続することで、計画どおり達成できた。									
3	復興支援に関する目標を達成するための措置	年度	A	5	B	1	C	0	D	0	I	
		年度	(四大) AOI会議の積極的な開催、県立医大や県警本部と連携した取組、ロボット人材育成などの取組を計画どおり実施した。AOI会議の開催回数は目標値を上回る実績となった。									
			A	0	B	2	C	0	D	0		
		(短大) 「学び舎ゆめの森（旧 大熊町立小・中学校）」への支援、地域との協働連携の取組等を、計画どおり実施した。										

第3	管理運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	中期	A	4	B	39	C	3	D	0	II		
		年度	A	4	B	41	C	1	D	0			
		中期	A	2	B	3	C	2	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	4	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	2	B	32	C	1	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
		年度	A	1	B	5	C	1	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	1	B	3	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	2	B	33	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										

1	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	中期	A	2	B	8	C	0	D	0	II	
		年度	A	1	B	9	C	0	D	0		
		中期	A	2	B	8	C	0	D	0		
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。									
年度	A	1	B	9	C	0	D	0	II			
	(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											
(1)	組織運営の改善に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	7	C	0	D	0	II	県派遣職員から法人職員への切替を計画的に実施し、法人職員の割合を47.1%にした。
		年度	A	1	B	7	C	0	D	0		
		中期	A	1	B	7	C	0	D	0		
			(四大・短大共通) 教職員の行動規範の周知徹底、職員採用方針による採用活動、職員研修等に取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。									
年度	A	1	B	7	C	0	D	0	II	女性管理職を複数名配置しており、目標を達成している。		
	(四大・短大共通) 教職員の行動規範の周知徹底、職員採用方針による採用活動、職員研修等の取組を計画どおり実施した。											
(2)	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	1	C	0	D	0	I	コピー用紙の購入量を削減し、目標の平均5%減を達成した。
		年度	A	0	B	2	C	0	D	0		
		中期	A	1	B	1	C	0	D	0		
			(四大・短大共通) ペーパーレス会議やコピー用紙購入量の削減に取り組み、さらにワークフローシステムを導入するなど、計画どおり達成できた。									
年度	A	0	B	2	C	0	D	0	II	ワークフローシステムを導入することで、事務手続きの一部について電子申請を開始した。		
	(四大・短大共通) ワークフローシステムを導入して、総務及び経理関連の事務手続きの電子申請を開始し、事務処理の効率化を図り、計画どおり実施した。											

2	財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	8	C	1	D	0	II		
		年度	A	0	B	8	C	1	D	0			
		中期	A	0	B	0	C	1	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	7	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
		年度	A	0	B	0	C	1	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	1	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			A	0	B	7	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										

(1)	外部研究資金等の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	4	C	1	D	0	II	【四大・短大共通】 「会津大学学生生活支援基金」を設置し、寄附金の募集を開始した。また、この基金を活用し、コロナ禍における学生支援のため、現金やプリペイドカードの支給等を実施した。		
		年度	A	0	B	4	C	1	D	0				
		中期	A	0	B	0	C	1	D	0				
			(四大) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、施設等の外部貸出に取り組み、概ね計画どおり達成できた。											
			A	0	B	1	C	0	D	0				
			(短大) 寄附金確保のための取組等に継続して取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
		(四大・短大共通) 保有する技術の発信のためのシーズ集作成や学生支援のための寄付金受入に継続して取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。												
		年度	A	0	B	0	C	1	D	0				
			(四大) 施設使用料の収入について、LiCTIA等では概ね年度計画どおり実施することができた。その他の施設については、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、2023年5月以降は貸出を再開することで、利用件数・使用料収入とも前年度を上回った。											
			A	0	B	1	C	0	D	0				
			(短大) 寄附金確保のための取組を計画どおり実施し、学生表彰規定に基づき奨学金を支給した。											
			A	0	B	3	C	0	D	0				
		(四大・短大共通) 保有する技術の発信のためのイベントに参加し、技術展示や説明等を行った。また、学生支援のための寄付金受入の取組を計画どおり実施した。												
II										【会津大学】 奨学寄付金を3,583万円受入れ、学生支援及び研究支援を実施した。				
II										【会津大学短期大学部】 紅翔奨学金の寄附金を広く募るとともに、12人の学生に奨学金を支給した。				

(2)	経費の抑制に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	4	C	0	D	0	II	毎年度、財務レポートを作成し、ホームページで公表した。
		年度	A	0	B	4	C	0	D	0		
		中期	A	0	B	4	C	0	D	0		
			(四大・短大共通) 財務状況分析や法人会計制度の研修、財務会計システムの評価等を継続することにより、概ね計画どおり達成できた。									
年度	A	0	B	4	C	0	D	0				
	(四大・短大共通) 財務状況分析や法人会計制度の研修など、計画どおり実施した。各種研修会・勉強会など職員の資質向上の機会を多数設け、職員の資質向上を図った。											
3	自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	6	C	1	D	0	II	/
		年度	A	0	B	7	C	0	D	0		
		中期	A	0	B	6	C	1	D	0		
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。									
年度	A	0	B	7	C	0	D	0				
	(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。											
(1)	評価の充実にに関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	4	C	1	D	0	II	教員の業務評価結果の反映方法構築について、中期計画を達成することができなかった。
		年度	A	0	B	5	C	0	D	0		
		中期	A	0	B	4	C	1	D	0		
			(四大・短大共通) 法人の自己点検評価等の取組や事務職員の人事評価の継続した運用、教員業績評価の見直しを進めることにより、概ね計画どおり達成できた。									
年度	A	0	B	5	C	0	D	0				
	(四大・短大共通) 法人の自己点検評価等の取組や事務職員等の人事評価を県の制度を準用して適切に運用した。											

(2)	情報発信の推進に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II	教育・研究成果、学生・教職員の受賞状況、産学連携、地域貢献等について、積極的に情報発信した。	
		年度	A	0	B	2	C	0	D	0			
		中期	A	0	B	2	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 引き続き適切な情報公開に努め、大学の活動を積極的に発信することにより、概ね計画どおり達成できた。										
年度	A	0	B	2	C	0	D	0					
	(四大・短大共通) 適切な情報公開、大学の幅広い活動の情報発信を、計画どおり実施した。												
4	その他業務運営に関する目標を達成するための措置	中期	A	2	B	17	C	1	D	0	II		
		年度	A	3	B	17	C	0	D	0			
		中期	A	2	B	3	C	1	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0			
			(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
		年度	A	0	B	11	C	0	D	0			
			(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
		年度	A	1	B	5	C	0	D	0			
			(四大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。										
			年度	A	1	B	2	C	0	D			0
				(短大) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。									
年度	A	1	B	10	C	0	D	0					
	(四大・短大共通) 予定どおり実施し、概ね計画どおり達成できた。												

(1)	法令遵守に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	3	C	0	D	0	II	法令遵守やハラスメント防止について、継続して取り組む必要がある。		
		年度	A	1	B	2	C	0	D	0				
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0	II			
			(四大・短大共通) 法令遵守等に関する研修を開催し、教職員の理解の向上を図ること等により、概ね計画どおり達成できた。											
年度	A	1	B	2	C	0	D	0	II					
	(四大・短大共通) 研修会の実施だけでなく、年度初めの部局長会議等、機会を捉えて行動規範の周知・徹底を指示したほか、適宜コンプライアンス徹底の注意喚起を図り、計画どおり実施した。													
(2)	施設設備や情報通信基盤の整備活用等に関する目標を達成するための措置	中期	A	2	B	6	C	0	D	0	II	【四大・短大共通】 図書館のICタグ導入に向け、計画的に準備を進めている。		
		年度	A	1	B	7	C	0	D	0				
		中期	A	2	B	2	C	0	D	0			II	
			(四大) 情報セキュリティ対策や付属図書館の利用環境整備に取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。											
		中期	A	0	B	2	C	0	D	0			II	
			(短大) セキュリティ・インシデントの注意喚起や図書館の狭隘化対策に取り組むことで、概ね計画どおり達成できた。											
中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II					
(四大・短大共通) 施設修繕計画に基づいた施設整備を進めることにより、計画どおり達成できた。														

			A	1	B	3	C	0	D	0	II	<p>【会津大学】 ネットワークシステムの更新や迷惑メール対策等を実施した。</p> <p>【会津大学短期大学部】 学生寮(一箕寮)の生活環境改善のため、床下換気扇の調整等を行った。</p>	
	年度	(四大)	セキュリティ対策や附属図書館の利用環境整備に取り組み、計画どおり実施した。										
		(短大)	A	0	B	2	C	0	D	0			
		(四大・短大共通)	施設修繕計画に基づいた施設整備や短大学生寮の生活環境の維持・改善の取り組みを計画どおり実施した。										
(3)	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	6	C	1	D	0	II	<p>【会津大学】 学生の健康診断受診率向上に努めたが、コロナ禍以前の水準までは回復できなかった。</p> <p>【会津大学短期大学部】 学生及び教職員の健康診断受診率は100%となった。</p>	
		年度	A	1	B	6	C	0	D	0			
			A	0	B	1	C	1	D	0			
			(四大)	教職員及び学生の健康診断受診の呼びかけ等を行い、未受診者の減少に努めることで、概ね計画どおり達成できた。									
			(短大)	教職員及び学生の健康診断受診の呼びかけ等を行い、未受診者の減少に努めることで、概ね計画どおり達成できた。									
			(四大・短大共通)	メンタルヘルスチェックや、施設・設備の巡回・点検を行うことで、概ね計画どおり達成できた。									

